

2016年3月17日

坂田記念ジャーナリズム賞

ベトナム戦争40年の報道で坂田記念ジャーナリズム賞受賞

公益財団法人坂田記念ジャーナリズム振興財団が選定する第23回坂田記念ジャーナリズム賞の第1部門（スクープ・企画報道）を、報道局ニュース情報センターが制作した「ベトナム戦争40年目の真実」が受賞しました。

報道活動名：ベトナム戦争40年目の真実

取材班名：ベトナム戦争の真実取材班

番組：①「テレメンタリー2015 二つの戦争 ～翻弄された日本兵と家族たち～」

2015年4月26日（月）05:20~05:50 放送

②「テレメンタリー2015 ベトナム戦争40年目の真実」

2015年6月7日（日）05:20~05:50 放送

報道内容：20世紀最悪の戦争と言われたベトナム戦争。2つの番組を通し、終結から40年が経ちようやく明らかにできた事実と、戦争に翻弄された日越両国の人々を描き出しました。

1作目は、太平洋戦争後にベトナムに残った日本兵とその家族の物語。ベトナム独立後、旧日本兵は強制送還され、家族となっていたベトナム人の妻子は引き裂かれました。ベトナム政府は、旧日本兵が独立に協力していた事実を公にすることを避けていましたが、日本に戻った旧日本兵は、妻子のためにとベトナム支援を続けました。パソコンを通じて初めて対面する親子のシーンでは、取囲む人の目からも涙が溢れ出しました。同じ境遇だったのです。

2作目では、戦争終結の象徴とされた大統領官邸への戦車突入映像が再現だったことを明らかにしました。当時は、フィルムを国外に持ち出して放映していたこともあり、現地の特派員等はニュースを確認できていませんでした。重要なのは、再現理由です。軍幹部は、そこには中ソの対立を背景にした北ベトナムのプロパガンダがあったと証言しました。大国に翻弄される北ベトナムは、世界の世論を味方につけるため情報戦に力を注いでいたのです。

*「坂田記念ジャーナリズム賞」は関西を拠点にした優れた報道活動に贈られる賞で、新聞・放送による報道活動を通じて関西の社会、文化の発展に寄与した故・坂田勝郎氏の遺志を実現するために設立されたものです。